

第1回初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会（2020.10.2）発表資料

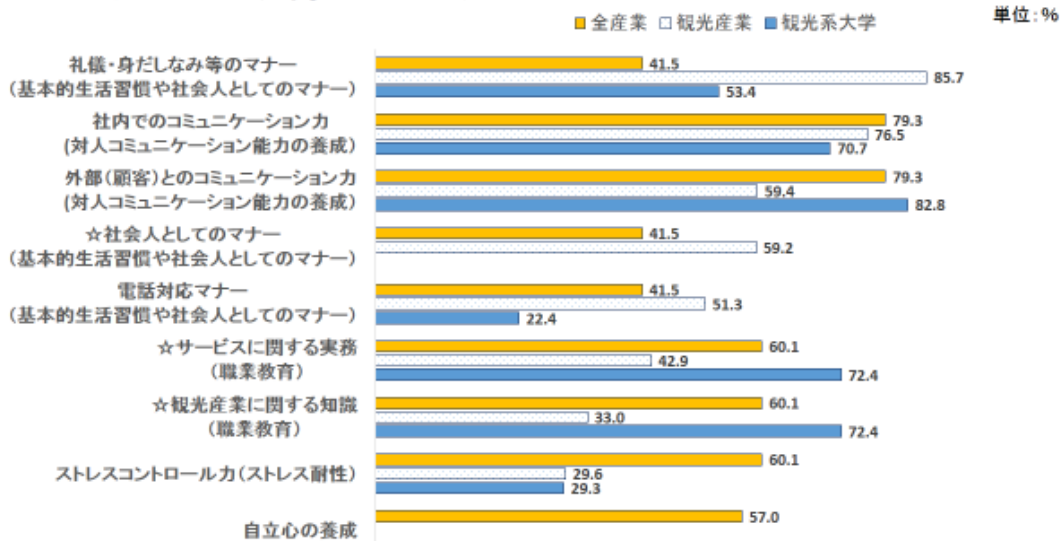
東洋大学国際観光学部  
森下晶美

### 観光産業と大学教育のミスマッチ

初等中等教育からバトンを受け取った大学が社会との橋渡しをする役割を担うべき、一方で、産業界とのミスマッチも指摘されている。

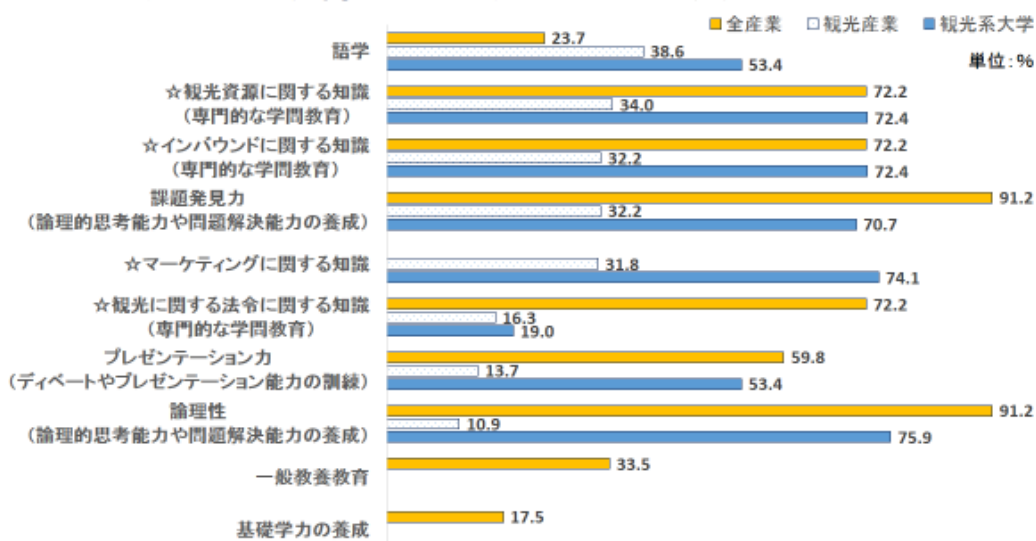
#### 1. ミスマッチの現状

#### 産業の期待との比較＜人格形成分野＞



資料：経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」2016年などを元に作成

#### 産業の期待との比較＜学問・教養分野＞



資料：経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」2016年などを元に作成

## 2. 課題

### 観光産業の現状(課題)とこれから必要となる人材

#### 課題

- 労働生産性の低さ
- 国際競争力の低さ
- イノベーションの遅れ、ビジネスモデル転換の遅れ
- マーケット変化への対応の遅れ  
などなど。。。



既存のOJTモデルには限界  
産業の現ニーズに沿った人材だけでは  
観光産業は発展しない

#### 必要となる人材

##### 【ホスピタリティ系人材】

- サービス現場で高度な対応のできる人材  
ホテル、CA(航空、クルーズ、鉄道) など

##### 【企画系人材】

- ビジネスプランの立案、コーディネートのできる人材、  
イノベーション、新規事業を起こせる人材



マーケティングから文化、自然まで  
広い知識と教養が必要

旅行会社(企画・セールス)、鉄道、航空(企画・セールス)、公務員、地銀、DMO など

## 3. 対応策として

- 特に、企画系人材の育成には初等中等教育から観光教育が必要
- また、観光のプレーヤーが飛躍的に増加している今日、狭義の観光産業のみならず、「観光」をフックに、広い産業で活躍できる人材育成とその社会的認識が必要
- 初等中等教育の成果を活かし社会へつなげるための高大連携の再構築が必要
- 目的に応じた大学における観光教育の体系化が必要

## 参考文献

観光庁調査「観光人材育成に関する調査～企業編～」、平成 29(2017)年 2 月

観光庁調査「観光人材育成に関する調査～大学編～」、平成 29(2017)年 2 月

経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016 年調査)、2016 年 12 月 21 日